

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
1	☐	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・企業行動規範に人権の尊重を定義している。社内ポータルに掲載し社員に周知しており、ハラスメント研修の実施、ハラスメント相談窓口の設置、内部通報制度により発生防止に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	☐	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントの扱いは、就業規則に規定するとともに、相談窓口を設置し、社内ポータルサイトへ掲載し社員に周知している。 ・ハラスメントの研修会を全社員に実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	☐	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・働き方改革関連法を含め、残業時間の上限規制、5日間の年次有給休暇の一斉・個別付与、労働時間の客観的な把握等の実施により長時間労働防止、健康経営に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4	☐	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・当社のベトナム法人からの技能実習生を毎年受入れており、技能実習法を遵守し、実施している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	☐	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・各職場の代表者で構成されている安全衛生委員会を設置し、リスクアセスメント等により労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8									
6	☐	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・相談窓口の設置及び保健師・公認心理師・産業カウンセラーの資格者を雇用して対応している。			3														
7	☐	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる各種制度を設けており、管理職を対象とした研修を定期的に実施している。 ・プラチナくるみん認定。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済。 ・えるぼし（3段階目）認定。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	☐	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・階層別研修などの定期研修と社員の要望に応じた単発研修を毎年数十件開催している。 ・個人の取組みを確認・評価するための研修マイレージ制度、研修助成金制度などを導入して職種別研修・自己啓発の実施を促している。				4	5.5			8	9								
9	☐	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	☐	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康経営の基本的な考え方・体制を定め、健康助成金制度を導入した。 ・管理栄養士による食事指導、専門トレーナーによる有酸素運動指導、役員と社員との軽食付き交流会を定期的に実施している。			3					8									
11	☐	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・マニフェスト等により排出量の管理を行い監視している。 ・部品納品時の通い梱包ケースの使用等梱包形態の見直しによる廃棄物の削減を実施。											11.6	12.4		14.1			
12	☐	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・省エネ法特定事業者のため、資源エネルギー庁へ毎年定期報告を行っている。 ・省エネ推進委員会を置きエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。							7.3						13				
13	☐	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・省エネ法特定事業者のため、資源エネルギー庁へ毎年中長期計画の提出を行っている。 ・省エネ推進委員会を置き省エネ計画を策定し推進している。 ・事例として、屋根の断熱性塗装、カバー工法による断熱対策。照明を順次LEDに変更。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	☐	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、リスクアセスメントを行い適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	☐	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した製品の設計・提供を通じて生物多様性の保全に配慮している。 ・排水の測定・管理を行い、生態系に悪影響を及ぼさないように監視している。						6.6									15		
16	☐	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別、削減を図り、資源の適切な利用を推進している。												12.5		14.1			

	☐	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水の恩恵を受ける洗車機メーカーとして、環境省が推進する健全な水循環や水環境保全に取り組む官民連携啓発プロジェクト「ウォータープロジェクト」に参加し、水資源の大切さを社内外に広く発信している。 ・当社製品の洗車機については、節水仕様、排水に配慮した自然由来の環境対応ケミカルを開発し採用中。						6.4 6.6													
カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
環 境	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001取得済。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HPで環境方針を公開している。											12.6								
	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルの設置、廃温水熱の再利用を実施している。 ・ソーラーLED表示機の開発。							7.2						13						
	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・関係会社にて、建物の断熱性能を高めるための断熱窓に地元産木材を使用した建材を開発・販売している。											12.2	13	14	15					
公 正 な 事 業 慣 行	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範に規定するとともに社内ポータルに関連規程を掲載し周知を図っている。																16 16.5			
	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動規範に規定するとともに社内ポータルに関連規程を掲載し周知を図っている。																16			
	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・企業行動規範に規定するとともに社内ポータルに関連規程を掲載し周知を図っている。 ・法務部に知的財産専門の組織を置き管理している。								8.2 8.3	9										
	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報に対する基本方針を定め社内外に公表し、関連規程の整備を行い管理を周知徹底している。																16			
	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・輸出入等、取り扱うケースにより確認を実施している。																16			
	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との会話や調査、評価を行うなかで認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
製 品 ・ サ ー ビ ス	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・完製品メーカーとして、設計、生産、販売、メンテナンスそれぞれで想定されるリスクを抽出し、安全性を確保した上で製品化する仕組みを構築している。			3.9									12.4							
	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からの問合せ、クレーム対応など、専任の対応部門をおきサービスを提供するための仕組みを構築している。									9										
	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・省エネ、梱包材の削減、環境に配慮した天然由来成分の洗車ケミカル等、開発・設計に取り組んでいる。						6						12	13	14	15				
	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・商品開発研究所を置き取組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）